

1
挑戦と創造で未来を変える
コムシス株式会社

先端技術駆使したシステム開発で
お客様のニーズに応えます

TCS
GROUP
www.comsis.co.jp

独アウディの自動車「A1」が自宅にやって来た。運んで来たのは専門の担当者「コンシェルジュ」。運転を楽しむ操作法やアウディならではの運転感覚を丁寧に教えてくれる。恋人と4時間のドライブを楽しんだ後は指定したレストランの前で待つコンシェルジュに返却する。利用料金は7200円でガソリン代も不要だった。これはアウディジャパン

輸入車に7000円強で乗り放題、高級掃除機が1カ月1000円強で使い放題——。そんな定額サービスが広がってきた。メーカーが製品を売り切るのではなく、消費者に定額料金で貸し出す「サブスクリプション(定額利用)」だ。モノが売れない時代に、メーカーはこれまでとは全く異なる関係を消費者と結ぼうとしている。「サブスクリプション革命」の最前線を追った。

サブスクリプション革命 ① 売らずとも 顧客と絆 末永く

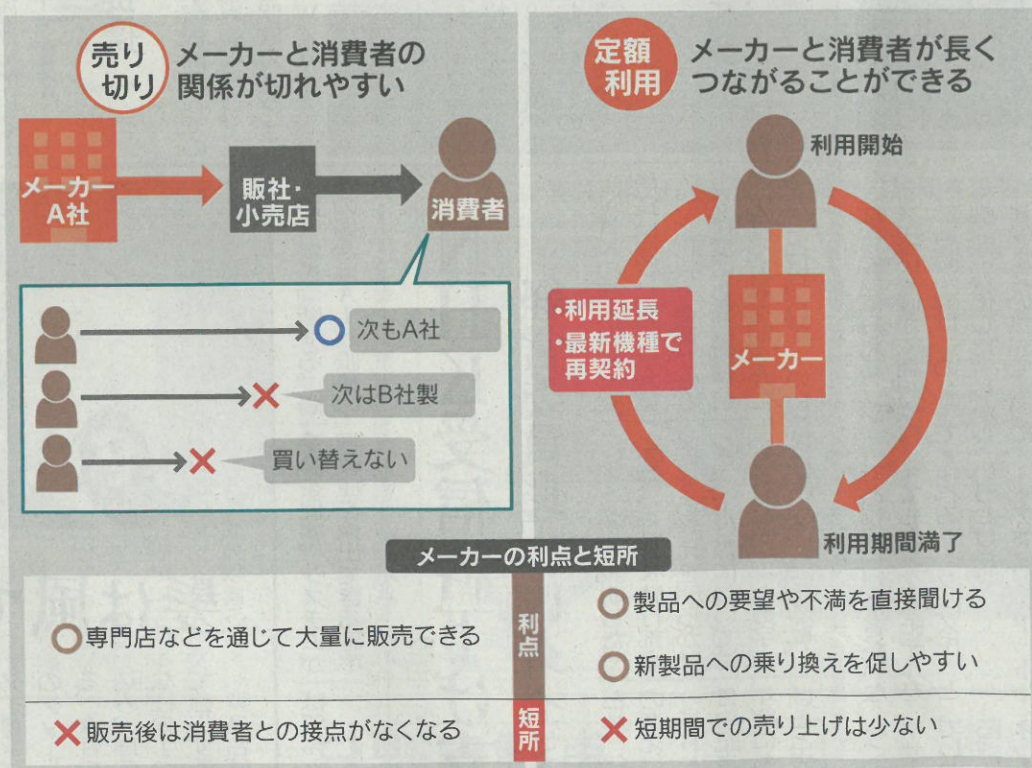
(東京・品川)が6月に都内で始めた「アウディ・オン・デマンド」だ。300万円前後のコンパクトカー「A1」「マネージャー」という。アウディA4のオーナーで、会員登録をして利用のタイミングを待つ30代の男性会社員は「スポーツカーの要素もあるA7に乗って家族とドライブを楽しみたい。4時間で2万円強ならお得だ」と話す。

毎月100人程度が利用し、「コミなど」で「期待通り」に増えている(坂田真一)。アウディA4のオーナーで、会員登録をして利用のタイミングを待つ30代の男性会社員は「スポーツカーの要素もあるA7に乗って家族とドライブを楽しみたい。4時間で2万円強ならお得だ」と話す。

高級車メーカー自ら乗り放題サービスを提供するのは異例のこと。消費者の新車購入に離れつつあるのか。そんな疑問にアウディジャパンの幹部は「利用しやすい金額を打ち出して将来の顧客を見つけ、困り込む狙いがある」と明かす。

しかも「コンシェルジュ」は車を引き取る際に利用客と

高級家電・車、定額で使い放題



所有から利用へ変わる消費 戦略刷新

「このデジタル機能が、室内のボタンはできるだけ減らすよ。いかがですか」と少ない方が、マアかなあ」。会話をしている。この消費者はカーシェアの利用を車販売は勢いを失った。車を売り切るのモデルだが、消費から利用へ重点を移した。ビジネスモデルは活路は開けられ、さらに懸念する。転が普及した近未来運転しなくても好きな場所に行ければ、車の利用方法。運転したく味性の高いモデル。アウディジャパンの社長は「ガジェ」2025年ごろ。ちたい層と不要ないに分かれる」とファンが望む。デザインや機能にはコネクテッド(車)が普及する。インターネット経由で必要な情報サービスを受ける。同社が利用している。アウディが4時間なら、高級車(東京・千代1000円強で消費。同社が17年始めた月額制のクラウドソーシングプラットフォーム「クラウドソーシング」が、ライヤーがそれぞれ00円から使い放題。アウディの掃除機を超える製品も国内メーカー製品。消費者には手間はかからない。家電量販品を展示している。触るだけで性能を

アウディジャパン / 高級輸入車

- 購入なら300万円前後 → 4時間7,200円
- 「コンシェルジュ」が顧客の元へお届け

対面で要望を聞き、開発に生かす

ダイソン / 掃除機など

- 購入なら3万円前後 → 月額税別1,000円〜

高性能を実感してもらいファンをつくる

パナソニック / 有機ELテレビ

- 購入なら30万円〜 → 月額7,800円

他社への乗り換えを防ぐ

NIKKEI BUSINESS DAILY

日経産業新聞

2018年(平成30年) 10月24日水曜日

未来をひらく未来につなぐ

バルカー

日本バルカー工業株式会社は、「株式会社バルカー」に社名変更いたしました。

- 3 「鉄屋の不動産」千葉の奇跡
 - ◆JFEスチール 不動産開発会社としての存在感を高めている。千葉県に巨大複合施設を開発し、オリエンタルランドに次ぐ規模の集客に成功した。「餅は餅屋」の常識を覆すJFE流でにぎわい創出に挑む。
- 4 I o T、台湾社と攻める
 - ◆菱洋エレクトロ 少ない消費電力で広域をカバーする無線通信規格「LoRa(ローラ)」に対応した製品を販売する。台湾キーウィテクノロジーと国内商社で初となる販売契約を締結し環境センサーなどを扱う。

INDEX



面積は約90平方m。正社員5人体制。品質テスト業務からスタートは開発業務やデザイン業務も手掛ける。すでに同県に進業との連携が取りやすいことが進捗につながっている。

ーン店舗にタブレット
 国銀行は住宅ローンや自動車ローン個人向け店舗「ローンセンター」タブレットを導入する。紙の伝票やりとりが不要になり、取引をス。北陸3県で展開する9店舗で。しなくてもキャッシュカードが進められ、ペーパーレス化や顧客層につながる。北国銀行などの営業店舗でもタブレット手

掲載頁

ススキの飲食店「蕎麦とワイン」金調達を始めた。出資者には金額にの年越しそばやワインを贈る。資金まで募集する。調達額が135万円を合、超過分は厚真町やむかわ町に寄附。地震の風評被害で道内の観光業は打撃。札幌市のほか、むかわ町や食店とも同様の取り組みを準備して

高知にテレワーク品質管理

【高知】在宅勤務などのテレワークの開発・販売を手掛けるe-Jワークス(東京・千代田)は高知市「ユニカルセンター」を開設する。開業する品質管理業務を担当し、12月3日を予定する。

同社が開発した「CACHATT(チャット)」は、外出先や自宅からスマートフォンやパソコンを使って職場のメールや

間単共有

ノプリ無償提供

保護者が「ugnote(ハグノート)」と併用すると、保護者も無料で利用でき、施設側がサイト上で「ノプリ」の保護者を招待する。園児の保護者も無料でアカウトを作成できる。園内行事などの写真の注文を保育士らに取りまとめたり、集金したりする負担を軽減できる。

「ユニア」開催

ブロックチェーン(分散台帳)の新しい台帳形成アプリケーションを提案する高校生が、家事の情報を共有するアプリを開発した中学生、経営管理システムを開発した高校生が「今すぐウチにインターンに来てほしい」と声をかけられる高校生。今回、回目を迎えた「未踏ジュニア2018年度最終成果発表会」の一幕だ。

小中高生対象 インターンの誘いも

「未踏ジュニア」の出身者が中心となり、若い世代のアイデアを発掘するプロジェクトだ。17歳以下の小中高生および高専生を対象にプロジェクトを公募。今回は12のプロジェクトを選出した。完成度が高く、すでにスマートフォン向けのアプリとして公開しているプロジェクトもあれば、プロトタイプまでたどり着かなかったものもあったが、全体的にみれば意欲や完成度は高い。「人工知能(AI)の一種である強化学習を使い、二足歩行ロボットでサッカーをさせるシミュレーション」など難しいテーマに挑戦している姿も見られた。最終成果のうち優秀なプロジェクトは「未踏ジュニア」に認定される。これに認定されると、翌年度以降のIIPAの未踏事業の1次選考が条件付きで免除される。



未踏ジュニア2018年度最終成果発表会の参加メンバー

ビジネスを強くする!!

今、注目すべきシステムは「チャットボット」

人手不足や働き方改革推進の中での業務効率化や生産性向上、またインバウンド需要の獲得など、今企業が直面している問題や取り組むべき課題は山積みです。それらを解決する手段として、ITの導入は必要不可欠となっております。ここで紹介するシステムやソリューションは、多くの企業が抱える問題・課題を解決する注目のものばかりです。今以上にビジネスを強くするために導入をおすすめします。

多様な課題を一発解決!!チャットボットAPI

KEN FIRST
 24時間365日 顧客対応可能
 カスタマーサポート型の負担を軽減
 優れたカスタマイズ性
 導入前後の安心サポート

ケンファーストはWEBを中心としたシステム開発を行っており、コンサルティング、人材ソリューション、受託開発、インフラ構築、ユーザーサポートを得意としている。2018年5月には、AIを活用したチャットボットサービスの販売を開始した。AI型とシナリオ型を兼ね備えたハイブリッド型チャットボット。同社のチャットボットAPIは、OYale Service Cloudと連携することで顧客からの問い合わせ情報を二元的に蓄積・管理し、ナレッジ

株式会社ケンファースト
<https://www.ken-first.com>

EVERYTHING IS FOR EVERYONE

全てはお客様のためのために。

KIT KIT PLANNING

キットプランニングは、年々拡大するインバウンド市場に合わせた企業をサポートすべく、様々なサービスを提供している。多言語でのコミュニケーションが求められる観光地や訪日外国人の増加の向上、なにより訪日外国人によりよい日本を楽しんでもらうため、同社は人のために企業としてのミッションを果たしていく。

多言語でのコミュニケーションが求められる観光地や訪日外国人の増加の向上、なにより訪日外国人によりよい日本を楽しんでもらうため、同社は人のために企業としてのミッションを果たしていく。

株式会社キットプランニング
<http://kit-planning.co.jp>

Web 継続確認
 Powered by MarkONE
 顧客への案内の手間を低減
 顧客との対応にかかる手間の低減
 顧客との対応における手作業による間違いの低減
 安否確認タスクオートメーション
緊急メール連絡板

業務効率化、BCP対策に貢献するツールを提供
 業務時間短縮で働き方改革に貢献
 ネットウエルシステムは、主として統合型ネットメールシステム「MarkONE」の開発・保守・運用を手掛けている。MarkONEは、顧客の確認や回答が必要な業務をより確実簡単にする業務補助ツール。質問内容と顧客情報をセットするだけでフォームが自動生成され、顧客自身でWebから確認・回答を行ってもらう。手入力の手間や入力ミスを低減し、処理スピードアップ、業務効率化に貢献する。

緊急時安否確認・連絡手段確保と通常時連絡手段にも対応!

株式会社ネットウエルシステム
<https://www.nw-system.co.jp>

データ収集から解析、故障予知までトータルに提供
 予防保全の高度化と
 継続的な安定稼働を実現する
 デバイスシステム・プラットフォーム開発センター(DSPC)は、振動センサー、無線モジュール、MCU、パッチャリを一体化したSmart IoT Edge VibeSenseを開発した。さらに、VibeSenseとKii社のAssess Monitorをクラウドプラットフォームおよびサイレックス・テクノロジー社のゲートウェイ装置と連携して、故障予知診断ソリューションを開発。同ソリューションは、収集した振動デー

タを基に機器の健康状態を把握し、独自の診断アルゴリズムにより故障が起きる時間を予測できる。これにより適切なタイミングでの点検が可能となり、保守コストの削減や設備・機器の停止による機会損失防止を実現し、効率的かつ安定的な稼働に貢献してきている。

来月からVibeSenseのサンプル、開発キット販売を開始することも、故障予知診断ソリューションの導入、支援、コンサルティングサービスも順次進めていく予定です。

株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター
<https://www.dsp-c.co.jp>